

## 2023年9月 診療カレンダー

住所: 東京都中央区日本橋大伝馬町13-8  
 メディカルプライム日本橋小伝馬町3階  
 TEL: 03-3639-3110 FAX: 03-3639-3112

## 2023年10月 診療カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

子宮頸がん  
 帯状疱疹  
 予防接種  
 受付中です

18時最終受付

ホームページ  
 院長ブログ公開中

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

「今月の言葉」  
 常に最善を尽くせ、たとえ勝ち目がないときでも  
 Always make a total effort,  
 even when the odds are against you.  
 ~アーノルド・パーマー(プロゴルファー)~

一般診療	月	火	水	木	金	土	日
10:00-13:00	●	●	●	●	●	●	×
15:30-19:00	×	●	●	●	●	×	×
●9:00-12:30							

お知らせ

- 発熱、風邪症状の方はお電話で予約受診してください
- 病気や検査の説明をテレビ画面で放映しています。奥の待合室のモニターをご覧ください。

スポーツの夏

9月に入っても相変わらず蒸し暑い日が続きますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？この夏は、甲子園の高校野球にはじまり、世界水泳、女子サッカー・W杯、世界陸上、バスケットボール・W杯など数多くのスポーツ競技が行われました。9月8日からは大注目のラグビー・W杯フランス大会が始まりますし、バレーボールのW杯も16日からです。

世界水泳の結果は日本(福岡)での開催にもかかわらず、日本選手は不本意な成績でしたが、女子サッカーは惜しくもベスト8で負けましたが、全力を尽くし、いい勝負をしていました。予選リーグでは優勝したスペインに4-0で勝っていますので実力は十分あると思えました。世界陸上では、やり投げの北口榛花選手が見事金メダルを獲得、バスケットボールも日本チームはアジア1位となり来年のパリオリンピックの切符を獲得して大いに盛り上がりました。

サッカー男子やラグビーの日本代表は最近のW杯ではコンスタントにより成績をとっており、日本のスポーツ競技は多くの種目で以前と比べて格段のレベルの向上を感じます。

私は小学生と中学生の時に陸上競技をやっており、競技をやめた後も陸上競技自体は大好きで、実際に国立競技場に観戦に行ったこともありますし、記録や順位などにも常に興味をもって見えています。私が学生の頃、世界に通用する陸上の種目は長距離やマラソンくらいで、短距離やハードル、跳躍競技などは世界の一流選手には全く歯が立ちませんでした。競技場で実際に外国選手を見ると彼らの体格の立派なこと、そして跳躍競技の場面では地面を蹴って走る足音が日本選手と全く違って、「これでは勝負にならないなあ」と思ったものです。しかしその後、徐々に男子の陸上選手は体格も大きく立派になり短距離やリレー競技などでも一流選手と見劣りしないレベルにまでなっているように思います。

先日の世界陸上では110mハードルの泉谷駿介選手が5位入賞を果たしましたが、これなどは昔では考えられないことです。ハードルは自分も小学生の時にやっていたのでよく知っていますが、当時の日本の男子のハードルはオリンピックの参加標準記録を突破することさえできないくらいのレベルでした。

体が大きいことは多くのスポーツ競技で圧倒的に有利ですが、成人のハードルハードルの高さは106.7cmあり、実際に間近で見るとそれは相当高く、背の高い人が当然有利になります。実際に110mハードルの世界の歴代記録をみるとほとんどの選手が190cm前後の体格で、オリンピックや世界選手権で決勝に残る人もそのくらいの身長です。ところが泉谷駿介選手は身長が175cm、世界選手権で決勝に残った中では誰よりも圧倒的に背が低く、他の選手は全員が黒人選手でした。実は先ほど背が高い人が有利だと書きましたが、ハードルの場合背が高すぎるのは逆に不利な可能性もあります。スピードに乗ってくるとハードル間の3歩がつまりすぎて「コチョコチョ」走りになってしまうからです。190cm前後の人が多いというのはおそらくそのくらいの身体のサイズがちょうどハードルには向いているということなのでしょう。泉谷駿介選手はまだ23歳ですし、創意工夫で世界の頂点に立てるかもしれないのではと、とても期待しています。

さて、身長のことですと、バスケットボールも背が高い人が圧倒的に有利ですね。先日日本のバスケットボールの試合を見ていましたが、身長190cmの人が小さく見えるというんでもない世界ですが、そんな中で170cm足らずの身長で走り回っている選手をみると自分の長所をいかすことがいかに重要なのかを知らされます。

先日の世界陸上では女子やり投げは日本の北口選手が金メダルでしたが、男子やり投げは1位がインドのN.チョプラ選手、2位はパキスタンのA.ナディーム選手で、インドは5位、6位にも入賞し、アジア勢が大活躍の種目となりました。その他にも棒高跳びでフィリピンの選手が6m00をクリアして銀メダルを獲得するなど、これまでは世界レベルにはなかった国々が活躍しています。

昨年サッカー・ワールドカップではアルゼンチンが優勝しましたが、そのアルゼンチンが唯一負けた相手がサウジアラビアでした。優勝できるような実力がある国でも負けてしまうということは、レベルの差が少なくなっているのでしょうか。

サッカーに限らず多くの競技でレベルが拮抗して国際大会では気を抜くことはできませんし、少しのことで勝負が変わってきます。今度のラグビーはグループリーグにイングランドとアルゼンチンがいて、なかなか厳しい戦いになると予想しますが、決勝トーナメントを目指してぜひチーム一丸となって頑張ってもらいたいと思っています。